

## 記事内容

- ☆埼玉県知事に対する政策・制度要請
- ☆平和行動in根室
- ☆平和行動in根室  
／ジェンダー平等・多様性推進委員会「多様性セミナー」
- ☆連合埼玉主催 第33回チャリティーゴルフ大会
- ☆女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)／(中級編)
- ☆青年委員会「2025青年交流会」／第19回定期大会公示
- ☆10月の行動予定表/パルスシステム埼玉お知らせ
- ☆あけぼのビル

## 埼玉県知事に対する政策・制度要請

働く者・生活者の視点で取りまとめた10分野39項目を要請!



9月16日(火)17時10分から大野 元裕埼玉県知事に対して、平尾会長、前原副会長、大谷事務局長、小林副事務局長の4名で、10分野39項目にわたる「2025年度政策・制度要請書」を提出しました。

冒頭、要請書の提出にあたり、平尾会長からは『私たちは「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて、働く者・生活者の立場に立った政策実現を軸に広範にわたり研究・検討を重ね、要請内容をとりまとめました。本要請は、雇用の安定と公正労働条件の確保およびすべての世代が安心して働き続けられる社会へと転換をはかり、ジェンダー平等をはじめとする多様性の実現などをつづじた、誰一人取り残されることのない社会の実現ならびに社会の様々な課題・不安の解消に向けた要請内容となっています。つきましては、大野県知事の強いリーダーシップのもと、関係各所と十分な連携をはかり、迅速な対応をはかっていたいただくとともに、本要請が勤労県民の総意として受けとめていただきたいと思ひます。』などの挨拶を述べた上で要請書を手渡しました。

一方、要請を受けた大野知事からは、『連合埼玉の皆様におかれましては、平素から県政に対するご支援、誠にありがとうございます。皆様には、働く者の立場からの様々な貴重なご意見をいただいていることに、感謝を申し上げます。』

なお要請へのコメントですが、1. 総合経済・産業政策のうちの公契約条例の制定についてであります。県では令和5年に公契約条例に関する庁内研究会を立ち上げ、連合埼玉をはじめとする労働者団体や公契約条例に関

わる先行自治体、事業者団体にもヒアリングをおこなっております。建設分野については、昨年6月に改正された「第三次・担い手3法」が今年12月までに全面施行される予定であることから、建設労働者の処遇改善に関する法改正の効果についても注視する必要があると考えています。

次に、企業成長・業態転換支援ですけれども、県では、CASEと呼ばれる自動車産業全体の変革を目的とした、国の「自動車ミカタプロジェクト」に加え、産業振興公社に対しては県独自の補助をおこなっており、自動車産業の他業種への業態転換を含めた支援をおこなっているところであります。また、自動車産業に関わらず、県内の中堅・中小企業の稼ぐ力の向上を図るため、生産性向上や円滑な価格転嫁に向けた支援、イノベーション創出支援、更にはサーキュラーエコノミーの推進など、様々な伴走支援をおこなっています。これに対し、広報の更なる充実の提案をいただきましたので、県や経済団体等の若手職員を中心に効果的な周知・広報を検討する組織を作り、取組を引き続き強化していきます。』などのコメントが述べられました。

今後、連合埼玉では、10月に県の関係部局との意見交換をおこない、次年度の予算編成に反映されるよう取り組みを進めていきます。また、各地域協議会においても、11月～2026年2月にかけて該当エリア内の市町村に対して、政策・制度要請をおこなう予定となっています。

連合埼玉の政策・制度要請は皆様からの提言をもとに作成しています。次年度以降も積極的な提言をお願いします。

# 2025平和行動in根室

～北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)の返還! 日ロ平和条約の締結を!～

連合の平和行動として今年最後となる「平和行動in根室」が、9月5日(金)～7日(日)にかけて開催されました。本年は連合埼玉からは8名が参加(関東ブロック代表団53名の参加)しました。

北方領土とは、北海道の北東部、根室半島の沖合に接する択捉島(えとろふとう)、国後島(くなしりとう)、色丹島(しこたんとう)、歯舞群島(はぼまいぐんとう)のことで、北方四島とも呼ばれており、この北方四島は一度として、日本以外どこの国の領土にもなっていない、日本

固有の領土です。

連合は、戦後70年を迎えた2015年の平和行動から、「次世代への継承」を掲げて取り組んでいます。元島民の皆様も現在では人数が5,135人、平均年齢がまもなく90歳(2025年3月末時点)を迎える中、その思いと運動を次世代へ継承する取り組みが急務となっています。

私たち参加者は、今回の行動で感じたことを地域・職場に持ち帰り共有することで、返還運動に取り組むことを誓いました。

日程	
2日目(9/6)	<b>■北方四島問題学習会</b> 時間 13:30～16:20 場所 北方四島交流センター(二・ホ・ロ) 内容 講演①海から見た北方領土問題 講師:山田吉彦氏(参議院議員) 講演②ふるさと四島への思い 講師:角鹿泰司氏 児玉泰子氏(元島民)
3日目(9/7)	<b>■2025平和ノサップ集会</b> 時間 11:00～12:00 場所 納沙布岬・望郷の岬公園 内容 ・主催者挨拶 ・地元挨拶 ・来賓挨拶 ・来賓紹介 ・元島民の訴え ・特別報告(竹島問題) ・平和メッセージ ・ピースリレー ・集会アピール ・ガンパロー三唱

参加者
古平 清隆 (UAゼンセン/武州製菓ユニオン)
宮崎 直人 (JAM埼玉/リズム労働組合)
細川千恵子 (ユニオン連合埼玉)
白石 匡司 (県央地域協議会/三井住友金属鉱山伸銅労働組合)
斉藤 裕 (東部地域協議会/SSUA上州屋労働組合)
春田 菊枝 (女性委員会/ヤマト運輸労働組合東松山支部)
星野 貴旭 (青年委員会/NTT労働組合北関東総支部)
小林 孝彰 (連合埼玉/副事務局長)

①今回、連合平和行動(沖縄、広島、長崎、根室)に参加したのは何回目ですか? ②今回参加された感想



連合埼玉からの参加メンバー

①初めて

②参加時は北方領土の問題についてはほとんど知識がありませんでした。そんな中で学習会にて元島民の方から詳しい当時のお話を拝聴し、生きるためとはいえ突然占領され、移住してきたソ連、ベラルーシ、ウクライナの者達と、言語が通じないにもかかわらず島での生き方を教えるなどの共存に向けた努力、また理不尽に送還された後も慣れない土地で必死に生きてきた苦勞を知ることができました。この平和行動を通してなんとしても北方領土の返還は達成しなければならぬと感じ、この問題を風化させることなく次世代に伝えていかなければならないという強い思いも生まれました。



宮崎直人

①初めて

②元島民の皆さんのお話や展示資料で学ばせて頂いた島での生活風景は、教科書には載っていない色鮮やかな生き生きとしたものでした。そこから突然の旧ソ連軍の侵攻、占領時の厳しい暮らし、命がけの脱島、日本への強制送還などに続く歴史は、筆舌に尽くしがたいものがあり、強く深い絶望悲しみを感じました。また、その後の日本での暮らしでも悲劇は続いており、この問題の根深さを再認識しました。元島民の皆さんの年齢は上がり、これ以上の先延ばしは許されない中、解決には国民世論の喚起が何よりも重要で、まずはお近くの方に伝えてくださいと切実な訴えがありました。地道な一歩が実を結ぶことを信じて、まずは職場から家庭から話していきたいと思えます。



細川千恵子



学習会を傾聴する参加者

①初めて

②終戦直後に故郷を追われた方々の苦しみや、今なおふるさとを想い続ける元島民の声に触れ、北方領土問題が単なる領土争いとどまらず、人間の尊厳や記憶に深く関わる重大な課題であると強く感じました。また、地元の漁業者が北方領土周辺で昆布漁を行うためにロシアに入漁料を支払いながら操業している現実を知り、かつて日本人が住んでいた地域で漁をするために他国に対価を払わなければならないという状況に、領土問題の複雑さと理不尽さを痛感しました。日露関係の難しさや平和的解決の道の遠さを感じる一方で、対話と相互理解を積み重ねることこそが未来の平和への第一歩だと感じます。今回の訪問で得た学びを大切に、正しい歴史を周囲に伝えとともに、問題解決に向けた意識を広めていきたいと考えています。



白石匡司

①3回目

②今年87歳になる母親が「樺太生まれ」という事で北方の話は興味を持っており、機会があればぜひ訪れてみたいと思っていたところ、場所は少し違いますが、今回その念願をかなえることが出来ました。北方四島の領土返還は絶対的正義であり、これからも求め続け、一刻も早く実現しなければならない事ですが、その一方で、当時故郷を追いやられた方々も17000名から5000名に減少し、平均年齢も89歳になるとの事です。領土が返還された際に、その方々や後継者の人々が北方四島に戻りどのような生活を送ることができるのか等も同時に考えていかなければならない問題であると感じました。今回の平和活動に参加して、「平和なくして労働運動は成り立たない」まさにこの言葉をかみしめ、一人でも多くの仲間に伝えていかなければならないと再認識いたしました。



斉藤 裕

①3回目

②戦後80年という節目の年を迎え、元島民のかたは高齢となり、ご先祖様へのお墓参りも出来ないままお亡くなりになってしまうという話を聞き、どんなに無念だったのだろうと思うととても胸が締め付けられる思いでした。北方領土問題は先行きが不透明となっておりますが、決して諦める事なく訴え続ける事が大事だと思いました。そして元島民のかたの気持ちを考え、少しでも交流が出来るように声をあげる事も必要だと感じました。今回、参加させていただき学んだ事、感じた事をしっかり次世代に継承していきたいと思いました。



春田菊枝

①2回目

②北方領土問題については、第二次世界大戦の降伏後にソ連が進行してきた程度の知識しかありませんでした。しかし、今回の活動に参加し、元島民の方のお話を聞く等を通して、当時の強制対処までの流れや心境、そして、現在に至るまでの活動等を知るきっかけとなりました。また、北方四島に関しては、過去より一貫して外国の領土となったことがない日本の領土であることを知り、故郷でありながら自由な往来ができないことを考えると非常に悲しく思います。北方四島返還の早期実現を願うとともに、私自身でも周りの人へ北方領土問題について広めていければと思います。



星野貴旭



北方四島学習会に参加した  
連合関東ブロック団



北方四島学習会 講師 元歯舞群島島民  
児玉泰子 氏(左) 角鹿泰司 氏(右)



2025平和ノサップ集会  
参加者全員でガンパロー三唱

## ジェンダー平等・多様性推進委員会 多様性推進セミナー開催

8月20日(水)、ジェンダー平等・多様性推進委員会主催の「多様性推進セミナー」を、37名の参加者のもと開催しました。冒頭、当委員会の委員長の鈴木副会長より開催のご挨拶をいただき、その後、講演1として、女装パフォーマー／ライターのブルボンヌ氏にご登壇をいただき、多様性を認めあう職場づくりをテーマに、LGBTQ、SOGIIに関する知識や自己肯定感を高める重要性などの講義をつうじ、多様性を理解し認め合うことの大切さの知識定着を図りました。また参加者は、講師とのディスカッションにおいて、各々講義で得た知識を深化し確答

しておりました。第二弾の講演2として、埼玉県県民生活部人権・男女共同参画LGBTQ担当の湯本氏からは、多様性施策の埼玉県の取り組みをテーマに、性の多様性に関する埼玉県の動きの他、埼玉県で取り組んでいる「アライチャレンジ企業登録」等を紹介され、労使で理解促進すべき事項の説明を受けました。多様性とは、性別や年齢、国籍、人種、文化、価値観といった異なる特性をもつ人々が互いを認め合い、共存していくことであります。昨年は「国籍、人種」に焦点をあてました。昨年に引き続き、多くの方にご参加いただきありがとうございました。



鈴木副会長あいさつ



ブルボンヌ講師



湯本講師

## 連合埼玉主催 第33回チャリティーゴルフ大会

9月17日(水)おおむらさきゴルフクラブにて、「連合埼玉第33回チャリティーゴルフ大会」を開催しました。

当日は、大変な猛暑の中、107名の参加者の皆様は多くの汗をかき熱中症に注意しながらのプレーとなりましたが、昼食やプレー終了後クラブハウスに戻る参加者の表情は明るく、楽しくプレーしていただけたと感じています。

今年も表彰式・抽選会を開催し、自分や仲間の成績に一喜一憂するとともに、抽選で自分が当たるかドキドキしながら楽しんでいただきました。

優勝者は、大場 義昭さん(UAゼンセン)となりました。

た。その他表彰については、下段の順位表をご参照ください。

抽選会においては、多くの産別・福祉団体・協力企業から協賛いただき、抽選会参加者全員がもれなく当選しました。抽選会の目玉となる「会長賞」については、連合関東ブロック連絡会から参加いただきました林 克己さんが当選し、平尾会長から直接賞品が手渡されました。

今回の目的であるチャリティー募金については、多くの皆様にご協力をいただき、175,096円の募金が集まりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

【チャリティー募金結果】

# 175,096円

ご協力いただいたチャリティー募金は「ふれあい募金」に活用させていただきます。



主催者代表挨拶  
平尾会長



乾杯  
竹内副会長



優勝  
大場義昭さん(UAゼンセン)



準優勝  
乙茂内一宏さん(中央労働金庫久喜)



会長賞  
林 克己さん(連合関東BL)



閉会挨拶  
高橋副会長

順位	グロス	ハンデ	ネット	組織名	氏名
優勝	95	24.0	71.0	UAゼンセン	大場 義昭
準優勝	82	10.8	71.2	中央労働金庫久喜	乙茂内一宏
3位	80	8.4	71.6	連合埼玉役員OB	依田 修
ベストグロス	77	3.6	73.4	自治労埼玉	新井 隆広

### 【労使トラブル 円滑な解決のお手伝いをします】

「解雇・雇止め」「労働条件の見直し」「パワハラ」など労働者と会社のトラブルでお困りのことはありませんか。県労働委員会が中立・公正な立場であっせんを行い、トラブル解決をお手伝いします。手続は簡単・無料、秘密厳守ですので、どうぞご利用ください(県内企業勤務の方が対象)。

問合せ 埼玉県労働委員会事務局 TEL048-830-6452

## 女性のためのSTEP UPセミナーを開催！

### ～ 初級編 ～



参加者の皆さん

女性委員会では、8月18日(月)に「女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)」をときわ会館501会議室にて開催し、構成組織からの参加者および幹事・事務局をあわせて、32名の方に参加していただきました。

冒頭、女性委員会を代表し藤井委員長から、「セミナー参加への感謝とともに、今回のセミナーはジェンダー平等の基本的な考え方・経緯や昨今問題となっている夫婦別姓についての基礎を学ぶ事を目的としており、学んだ事を単組へ持ち帰り展開して欲しい、また構成組織を超えた横のつながりをつくり情報交換をおこない各単組の活動へ生かしてほしい」との挨拶がされました。

講師として連合本部の菅村裕子氏をお招きし、「ジェンダー平等・多様性推進の基礎と経緯」および「選択的夫婦別姓の基本的考え方と利点」について学びました。ジェンダー平等の現状や男女間賃金格差の是正、連合のジェンダー平等・多様性推進計画を詳しく知る事ができ、意思決定の場に女性が参画する事の意義について理解する事ができました。

また、氏に関する現行法制度や検討の経緯、直近の動向についても学び、選択的夫婦別姓が個人の選択に与える影響や多様な価値観を尊重する姿勢の重要性について理解を深める事ができました。

初級編は男性の方々にも参加していただき、とても有意義で充実した学びの機会となりました。



菅村 裕子氏



セミナーの様子

## 女性のためのSTEP UPセミナーを開催！

### ～ 中級編 ～



参加者の皆さん

女性委員会は、9月12日(金)埼玉県県民健康センター大会議室Aにて、各構成組織および幹事・事務局あわせて20名のご参加をいただき、「女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)」を開催しました。ご参加いただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。

セミナーの冒頭、主催者を代表して女性委員会 藤井委員長より、セミナーの趣旨をふまえた挨拶がされ、その後、連合埼玉を代表して小林副事務局長より挨拶がありました。

一般社団法人日本産業カウンセラー協会北関東支部産業カウンセラー瀬川裕之氏のご講演では、「ファシ

リテーションと心理的安全性」をテーマにおこないました。職場でのファシリテーターとしてのスキルアップを目的に、講義とグループワークがおこなわれました。グループワークでは、『女性が活躍できる職場を構築するには?』をテーマに各グループに分かれ、ファシリテーター役を順番におこない、それぞれの良い点などについてディスカッション、まとめをおこないました。各グループでは活発な意見交換がおこなわれ、最後にグループ毎に発表をおこない、終了しました。

女性委員会では、今後も女性組合役員がいきいきと活動できるための手助けとなるようなセミナーの開催を継続していきます。



瀬川 裕之氏



藤井委員長

# 2025北関東青年交流会 開催

総勢43名の青年委員会メンバーが宇都宮に結集  
(栃木・群馬・茨城・埼玉 + 千葉・東京・神奈川・山梨)

9月12日(金)～13日(土)に、栃木県宇都宮にて、連合栃木・連合群馬・連合茨城・連合埼玉の青年委員会幹事と今後関東ブロック全体での開催を視野にいれ、連合千葉・連合東京・連合神奈川・連合山梨も参加していただき、青年交流会を開催しました。

1日目は開催地青年委員会代表として、連合栃木の平石青年委員長からあいさつがありました。その後、基調講演として、Heart berry marriage代表の舟木隆子氏から「婚活カウンセラーからみる最近の婚活事情」と題し講演がありました。最近の結婚の状況や若者の結婚観の変化や初対面で好感を与えるテクニッ

クなど、今後の活動に参考になることが多くありました。

続いて「青年委員会活動報告」を参加した各地方連合会の青年委員会代表者から発表があり、最後に中央労金とこくみん共済coopから事業団体報告がされました。

2日目は宇都宮市大谷町にある大谷資料館に向かい採石されて広がった巨大空間を見学し、その後大谷寺と平和観音を見学して見識を高めました。二日間を通し各地方連合会青年委員の皆様と良い交流が出来、非常に有意義な会となったと感じました。



開催地青年委員会代表挨拶  
連合栃木 平石青年委員長



基調講演  
舟木隆子氏



参加者集合写真



大谷資料館風景



連合栃木



連合群馬



連合茨城



連合埼玉



連合千葉



連合東京



連合神奈川



連合山梨

## 公示

2025年9月10日  
日本労働組合総連合会  
埼玉県連合会  
会長 平尾 幹雄

連合埼玉規約第16条ならびに第19条にもとづき、第19回定期大会を下記のとおり開催する。

### 記

1. 日 時 2025年11月19日(水)10:00～
2. 会 場 ロイヤルパインズホテル浦和 4階・ロイヤルクラウン  
さいたま市浦和区仲町2丁目5番1号  
TEL:048-827-1111(代表)
3. 主要議事 (1)連合埼玉規約・規定の改定について  
(2)2026年度～2027年度 運動方針(案)について  
(3)2026年度 予算(案)について  
(4)2026年度～2027年度 役員の選出について  
(5)その他

以上

現在予定される10月の日程表です

10月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	水	①第2回広報委員会(10:00~/連合埼玉会議室) ②宅配を1回で受け取ろう街宣(東部)(18:00~/久喜駅西口ロータリー)	①埼玉県労働者共済生活協同組合「第446回理事会」(10:00~/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ②こくみん共済 coop「第2回代表委員会」(11:00~/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ③中央労働金庫埼玉本部「第4回県運営委員会(県推進会議会場)」(14:00~/ときわ会館)
2日	木		①第2回事業団体実務推進連携会議(15:00~/ばる★てらす) ②連合関東ブロック連絡会「第46回中央ろうきん協力会議」(15:00~/中央労働金庫本店)
3日	金		
4日	土		自治労埼玉県本部「第89回定期大会」(12:30~/ときわ会館)
5日	日		
6日	月	①連合寄付講座(ものづくり大学建設学科/応用ゼミ)第2部(9:00~/ものづくり大学) ②連合埼玉内部会計監査(15:00~/連合埼玉会議室)	第6回地方連合会代表者会議(14:00~/連合会館)
7日	火	連合埼玉外部会計監査(10:00~/連合埼玉会議室)	①連合「第19回定期大会」(7~8日/京王プラザホテル) ②大野 もとひろと日本一暮らしやすい埼玉をつくる会(18:00~/ロイヤルパインズホテル浦和) ③小鹿野町長選挙 告示日
8日	水		①令和7年度埼玉県地域両立支援推進チーム会議(15:00~/埼玉労働局雇用保険説明会場) ②川越・西入間地域協議会「幹事会」(18:00~/ネット21川越)
9日	木	第11回四役会議(14:00~/高崎ワシントンホテル)	
10日	金	①第11回執行委員会<県外視察>(10:00~/前橋市民文化会館) ②第11回執行委員会(13:00~/11日/Gメッセ群馬)	
11日	土		①比企地域協議会「第11回チャリティーゴルフ大会」(8:00~/大麻生ゴルフ場) ②UAゼンセン埼玉県支部「定期総会」(13:30~/THE MARK GRAND HOTEL)
12日	日		小鹿野町長選挙 投票日
13日	月		
14日	火	①地協BL連絡会 in 東部ブロック(10:00~/久喜市三高サロン) ②首長懇談会 in 東部ブロック(15:00~/久喜市三高サロン)	
15日	水	①地協BL連絡会 in 南部ブロック(10:00~/ときわ会館) ②首長懇談会 in 南部ブロック(15:00~/ときわ会館)	
16日	木		特定最低賃金審議会(異議審)(9:30~/労働局)
17日	金	ネット21「第6回運営委員会」(10:00~/連合埼玉会議室)	①九都県市首脳会議座長への政策・制度要請(16:00~/横浜市役所) ②県央地域協議会「第8回幹事会」(18:30~/労金上尾支店会議室)
18日	土		
19日	日		①熊谷市長選挙 告示日 ②越谷市長選挙 告示日 ③鶴ヶ島市長選挙 告示日 ④ふじみ野市長選挙 告示日
20日	月		
21日	火		
22日	水	組合役員教育プログラム「2025年度修了証書授与式」(16:00~/あけぼのビル)	
23日	木	①女性委員会「第7回幹事会」(13:30~/さいたま共済会館) ②女性のためのステップアップセミナー(上級編)(15:00~/さいたま共済会館)	
24日	金	①地協BL連絡会 in 北部ブロック(10:00~/キングアンバサダーホテル熊谷) ②首長懇談会 in 北部ブロック(15:00~/キングアンバサダーホテル熊谷)	
25日	土	金属部門「親子ものづくり教室」(10:00~/ものづくり大学)	JEC連合埼玉地方連絡会「第24回定期総会」(14:00~/ときわ会館)
26日	日		①熊谷市長選挙 投票日 ②越谷市長選挙 投票日 ③鶴ヶ島市長選挙 投票日 ④ふじみ野市長選挙 投票日
27日	月		こくみん共済 coop セミナー(13:30~/THE MARK GRAND HOTEL)
28日	火	①地協BL連絡会 in 西部ブロック(13:30~/ラ・ポア・ラクテ) ②宅配を1回で受け取ろう街宣(西部)(18:00~/川越)	
29日	水		
30日	木	①政策・制度委員会(9:30~/連合埼玉会議室) ②埼玉県への政策・制度要請に伴う関係部局との意見交換(10:30~/さいたま共済会館) ③埼玉公務労協総会(18:30~/あけぼのビル)	
31日	金	①連合寄付講座(ものづくり大学情報メカトロニクス学科/創造プロジェクト)第1部(13:30~/ものづくり大学) ②連合寄付講座(ものづくり大学情報メカトロニクス学科/創造プロジェクト)第2部(15:20~/ものづくり大学)	



**ムリなく毎日の献立作りにも!**

## 3日分の時短ごはんセット

※インターネット注文限定商品

3日分の夕食(主菜+副菜1~2品)が約20分で簡単に作れる、食材とレシピをセットでお届け!

**産直 生協の宅配パルシステムをはじめましょう!**

**安心 便利**

お問い合わせ

0120-860-678

\*通話料は無料です。

生活協同組合パルシステム埼玉 受付センター ● 受付時間/月~金 9:00~20:00



### ◆11月1日より、新たな埼玉県地域別最低賃金が発効される!

2025年度の埼玉県地域別最低賃金改定に関する審議会の議論が終了し、結審を迎えました。審議をつうじて、最低賃金が単なる「賃金の下限」ではなく、「すべての働く人が安心して暮らせる生活水準を保障する基準」であるという原点に、改めて立ち返る必要性を強く感じました。また、賃金が生活水準に見合わなければ、どれだけ長時間働いても生活は苦しくなり、働くことそのものが人生の重荷になってしまいます。

これまでの埼玉県最低賃金(地域別最低賃金)は、時給1,078円(2024年10月改定)でしたが、この金額で実際に「普通に暮らせるか」といえば、答えは否でしょう。物価の高騰、エネルギー費の上昇、そして住宅費や教育費など生活コストは年々上がっています。一方で、最低賃金の上昇は、それに追いついていない現実となっています。

埼玉県地域別最低賃金改定については、7月14日に開催された「第1回埼玉地方最低賃金審議会」を皮切りに議論が進められ、8月8日に開催された「第7回埼玉地方最低賃金審議会」をもって結審されました。

改正される最低賃金は、11月1日より対昨年比+63円、引上げ率5.84%の1,141円となりました。また、都道府県別に比較すると、最大引上げ額では熊本県の82円の引上げ、最小引上げ額では、埼玉県を含む8都府県の63円の引上げとなりました。

#### 【近接する都道府県の改正状況】

都道府県名	時間額	引上額	率
東京都	1,226円	63円	5.42%
神奈川県	1,225円	63円	5.42%
埼玉県	1,141円	63円	5.84%
千葉県	1,140円	64円	5.95%
茨城県	1,074円	69円	6.87%
栃木県	1,068円	64円	6.37%
群馬県	1,063円	78円	7.92%
山梨県	1,052円	64円	6.48%

#### 【引上げ額トップ5の都道府県】

都道府県名	時間額	引上額	率
1 熊本県	1,034円	82円	8.61%
2 大分県	1,035円	81円	8.49%
3 秋田県	1,031円	80円	8.41%
4 岩手県	1,031円	79円	8.30%
5 群馬県	1,063円	78円	7.92%
5 長崎県	1,031円	78円	8.18%

埼玉地方最低賃金審議会の中では、消費者物価指数、景況感、春闘などを判断材料として検討・議論を進めてきましたが、残念ながら、最終的に決定された改定額は、我々が求めている水準には届かない結果となりましたが、中央最低賃金審議会が目安として示した63円の引き上げで決めたと聞いています。一步でも前に進めることができたこと、そしてその背景にある労働者の声が審議の中で確かに届いていたことに、一定の意義を見出すことができましたと聞いています。

しかし、今次最低賃金の引上げ額は、これまでの最低賃金の過去最高額であったものの、発効日は昨年よりも1ヶ月遅れの11月1日となり、労働者側反対の結果となりました。これは、審議会委員が極めて厳しい議論が繰り返される中での判断であったと受け止めています。改めて、対応いただいた委員の皆様の労をねぎらいたいと思います。そしてこの議論を支えていただいたすべての仲間の皆様にも、敬意を表します。

連合は、全国的に「最低賃金1,500円の早期実現」を掲げています。これは単なる数字目標ではなく、働く人の尊厳を守り、地域社会の持続可能性を高めるための必須条件であります。最低賃金が上がれば、消費が喚起され、地域経済が活性化します。また、労働力不足が深刻化する中、魅力ある職場づくりにもつながります。賃上げは、企業と働く人の「未来への投資」であり、決して敵対関係ではありません。

特に、中小企業にとって、「最低賃金引き上げ=経営圧迫」と受け取られがちですが、私たちはそうした企業への支援策(公的補助、税制優遇、価格転嫁の仕組みなど)も含めた「持続可能な賃上げ」の実現を、行政や経済団体にも強く働きかけていきます。

最低賃金の審議は、「一部の低所得層の問題」として扱われがちですが、決してそうではありません。最低賃金の水準が社会全体の賃金の土台を形作ります。誰か一人の尊厳を守ることは、すべての人の働く権利を守ることにつながります。

また、地域間格差は課題であり、東京都と埼玉県との最低賃金の差額は依然として大きく、通勤可能圏内であっても、若年層や非正規雇用労働者は都内の低賃金職に流れてしまう現象が続いています。これは埼玉県内の中小事業者にとっても、人材確保を困難にする要因の一つであり、地域経済の活力を奪うものと捉えています。

すべての働く人が安心して働き続けられる社会へと転換をはかり、誰一人取り残されることのない社会の実現のために、私たちは、すべての仲間とともに、声を上げ、行動を続けてまいります。

2025年の最低賃金改定が、埼玉県で働くすべての人々にとって、希望のある一步となるよう、運動を展開してまいりますので、引き続きの皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

2025.9.24